

平成20年度 サマージョブ・テーマ一覧

テーマ	概要	期間	人数
地球温暖化防止のためにCOOL EARTH 50の実現	京都議定書の約束期間（平成20年度～平成24年度）が今年度より開始されるなど、地球温暖化対策は待たなしで推進しなければならない重要な政策課題であり、政府全体でも様々な取組みがなされています。一方、国際議論においては、「ポスト京都」の議論が加速しており、例えば2050年CO2削減というような京都議定書の枠にとどまらない政策を手当することは、国際的に見ても非常に重要な課題となっています。運輸部門・民生部門など国土交通省担当部門におけるCO2排出量は非常に大きな割合を占めていることから、地球温暖化防止に有効な運輸・民生部門のあり方を検討した上、政策企画・提案していただきます。	8月4日(月)～ 8月8日(金)	7名程度
CHANGE～まちづくりの変革～	人口減少・超高齢社会の到来する中、それに合わせた持続可能な都市・地域構造を実現していくことは国家としての喫緊の課題となっており、まちづくり行政についても、以下の観点から大きな転換点を迎えています。 ①拡散型都市構造から集約型都市構造（コンパクトシティ）への転換 ②都市開発ファイナンスのあり方の変化（コーポレートファイナンスからプロジェクトファイナンスへ） ③市町村のみならず、民間の担い手が参画したまちづくり活動の普及 このようなまちづくり行政の大きな転換点に当たっての課題の整理とその解決策について企画・提案して頂きます。	8月4日(月)～ 8月8日(金)	7名程度
東京都渋滞撲滅計画～新規渋滞緩和策を考える～	「渋滞対策」は国民が希望する国が重点的に取り組むべき道路施策の最上位に挙げられています。渋滞による損失は全国で約10兆円にものぼり、特に首都圏では全国の4分の1に相当する渋滞が発生しています。このように、今後より一層重点的な対策が求められている「渋滞対策」について、東京都内の渋滞をモデルケースに、新しい渋滞緩和緩和策を提案していただきます。	8月4日(月)～ 8月8日(金)	7名程度
空の玄関「空港」を考えよう～成田空港・羽田空港の活用方法を考えてみよう～	グローバル化の波が急速に進展する中、国境を超える人や企業の活動を円滑かつ適切に推進することは、わが国の社会・産業を支える上で重要な課題となっています。そういった人流を支える我が国国際航空ネットワークは、特に首都圏については、従来より成田空港が担ってきたところですが、2010年10月以降は羽田空港に国際線も就航させるべく、4本目の滑走路の整備等再拡張事業が鋭意進められています。首都圏の需要を支える成田空港と羽田空港について、現在予定されている計画（施設整備、アクセス、活用方策等）を整理した上で、両空港の一層の活用を図る上で検討すべき課題の整理と改善策を提案していただきます。	8月18日(月) ～ 8月22日(金)	7名程度
集落の消滅を防げ！～国土計画と「新たな公」が集落にできること～	全国各地にある集落。これが今消滅の危機に瀕しているということをご存じですか？市町村へのアンケートを行ったところ、全国の過疎地域などで2,600を超える集落が将来的に消滅する（実態として無人化し、通年で居住者が存在しなくなる）おそれがあると判明しました。それでは、そこに住まう人々の生活はどうなってしまうのでしょうか？消滅をくい止める手だては？放置されてしまった山林や空き家が国土の管理に与える影響は？国土計画と「新たな公」はこれにどう応えればよいか、その分析と政策・計画の企画・提案をしていただきます。	8月18日(月) ～ 8月22日(金)	7名程度

テーマ	概要	期間	人数
観光に関する人材育成	国土交通省では観光立国の実現に関する施策を推進しており、本年10月には「観光庁」が設立されます。観光立国の実現に向けては、それを支える人材の育成が必要となっており、大学等高等教育機関においては、観光関係の学部・学科が増加する一方で、その教育内容について課題を抱えているとの指摘があります。観光立国を実現するためのいほどのような人材が必要なのか、観光を支える人材育成のためにはどのような教育プログラムが必要なのか、学生の視点から検討し、企画・提案して頂きます。	8月18日(月) ～ 8月22日(金)	7名程度
豊かな住生活の実現に向けて	戦後の高度経済成長を経て、現在、我が国は国際社会におけるフロントランナーの役割を担うようになっていきます。しかしながら、国民生活の基本である「衣食住」のうち、「住」については、一生をかけて取得した住宅が一代限りで取り壊され、各世代が大きな住居費負担に圧迫されているなど、世界に誇れ、成熟社会にふさわしい魅力ある住生活を実現しているとは言い難い状況にあります。そこで、我が国が現在直面している課題等を踏まえ、成熟社会にふさわしい豊かな住生活を実現するために必要な政策について、企画・提案して頂きます。	8月18日(月) ～ 8月22日(金)	7名程度
水害から国民の生命・財産を守る！～今後の川とのつきあい方とは～	本年の中国における巨大地震、ミャンマーにおけるハリケーン被害を例に出すまでもなく、自然災害の危険性は世界各国で高まりを見せており、日本も例外ではありません。特に、気候変動の影響等により、2005年には連続雨量1,000mm・日雨量100mmを超える豪雨が発生するなど、水害リスクが高まっている一方、災害時に援護を必要とする高齢者の増加や水防団員の減少などにより、地域防災力は低下しています。こういった近年特に大きくなってきている懸念事項や日本の国土の脆弱性、現在の河川の状況について現場見学等を通じて考察し、財政再建と安心・安全な生活環境の迅速な確保という矛盾しうる課題をともに解決することができる効果的・効率的な河川行政のあり方について企画・提案していただきます。	8月25日(月) ～ 8月29日(金)	7名程度
日中韓物流パートナーシップの構築～国際物流の円滑化を目指して	皆さんは「物流」と聞くとどのようなイメージを持ちますか？商品を海外から日本へ、工場からお店へ運ぶ過程がまさに「物流」ですから、「物流」はアタリマエの生活をアタリマエたらしめているとても重要なものと言うことができます。そういった世界の動きと直結する「物流」においても、現代社会がグローバル化する中で、ボーダレス化が進んでいます。特に、我が国にとっては中国・韓国などの北東アジア地域との経済交流がますます深まっており、2007年には従来の米国に代わって中国が我が国の最大貿易相手国となりました。こうした状況を踏まえ、日本・中国・韓国といった北東アジアにおける国際物流の効率化に向けた改革等について、企画・提案をしていただきます。	8月25日(月) ～ 8月29日(金)	7名程度
地域の足をどうするか？～地域公共交通の未来を考える～	地域における公共交通は、少子高齢化やマイカーの普及等によって、その置かれた環境は年々厳しさを増しており、その維持が困難となってきています。その一方で、高齢者をはじめ地域住民の足を確保するため、また、中心市街地の活性化など地域の活力を再生するため、利便性の高い地域公共交通を確保することは、地域にとって重要な課題となっています。地域公共交通について、具体的な地域の取り組みを検討していただいた上で、その再生・活性化方策について企画・提案して頂きます。	8月25日(月) ～ 8月29日(金)	7名程度